第3期帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況等について

令和8年9月

目次

帯広市の人口動向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P1～10

第3期帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略・・・・・・・・・・・・・・・P11

令和7年度指標の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P12

令和7年度　基本目標評価表

基本目標1　新たな「しごと」を創り出す ・・・・・・・・・・・・・・・・・P13～18

基本目標2　十勝・帯広への「ひと」の流れをつくる・・・・・・P19～21

基本目標3　結婚・出産・子育ての希望をかなえる ・・・・・・P22～24

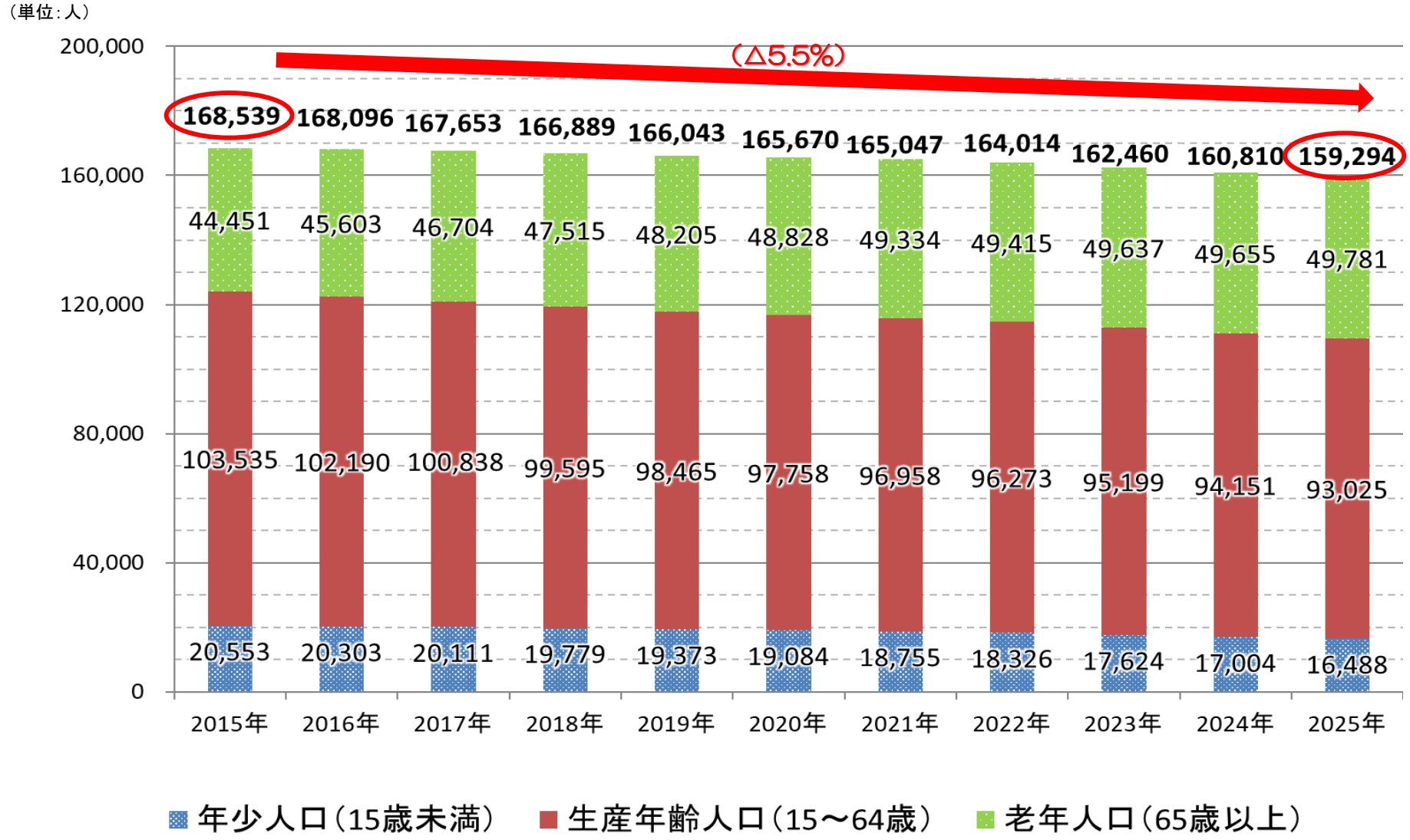
基本目標4　快適でいきいきと暮らせるまちをつくる ・・・P25～29

帯広市の人口動向

帯広市の人口動向

総人口

● 2015（H27）年～2025（R7）年の間で9,245人減（△5.5%）

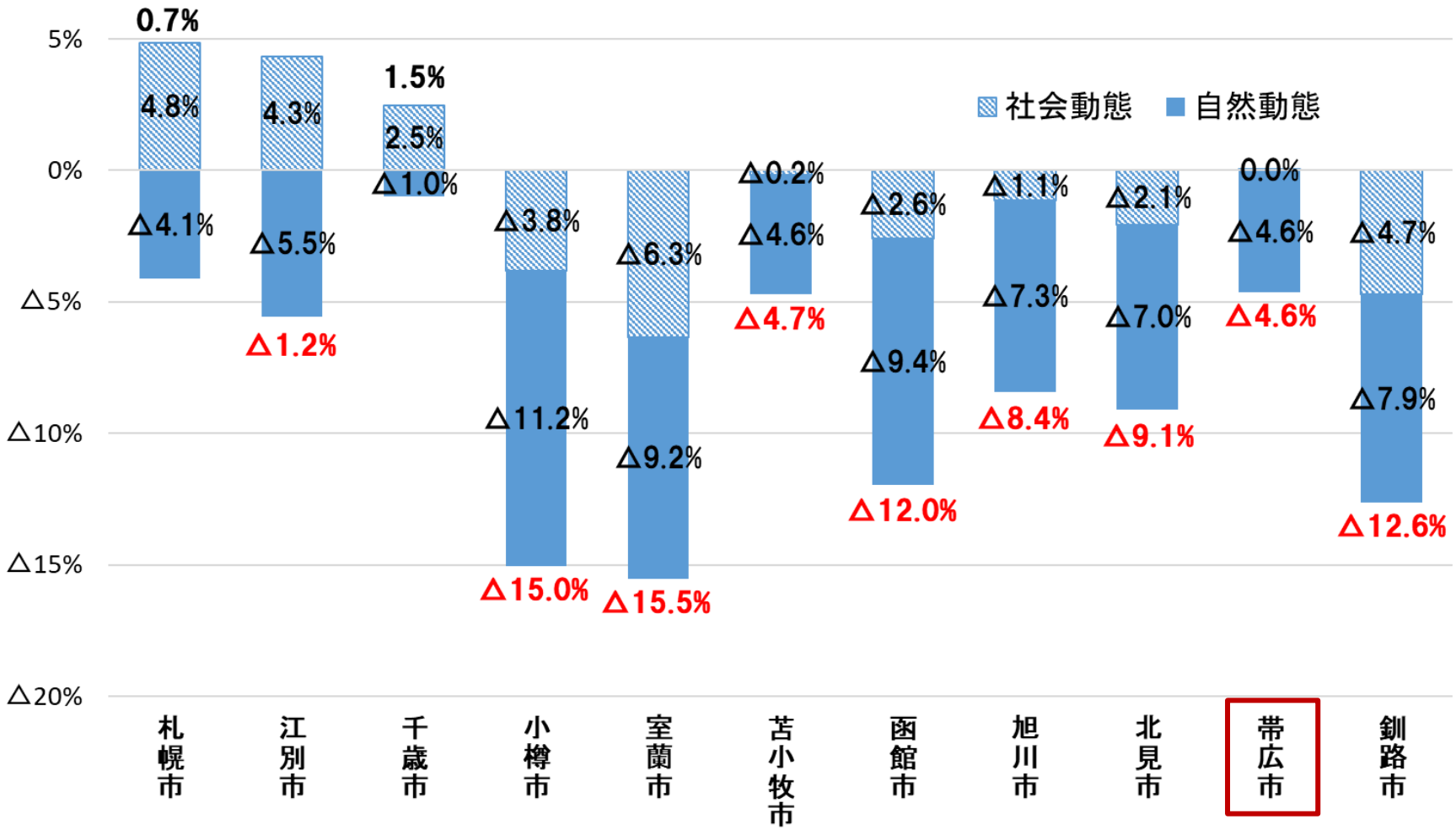


注）各年12月末日現在　　出典：住民基本台帳

帯広市の人口動向

道内主要都市比較

● 帯広市の増減率は道内4位（2015（H27）年～2024（R6）年）

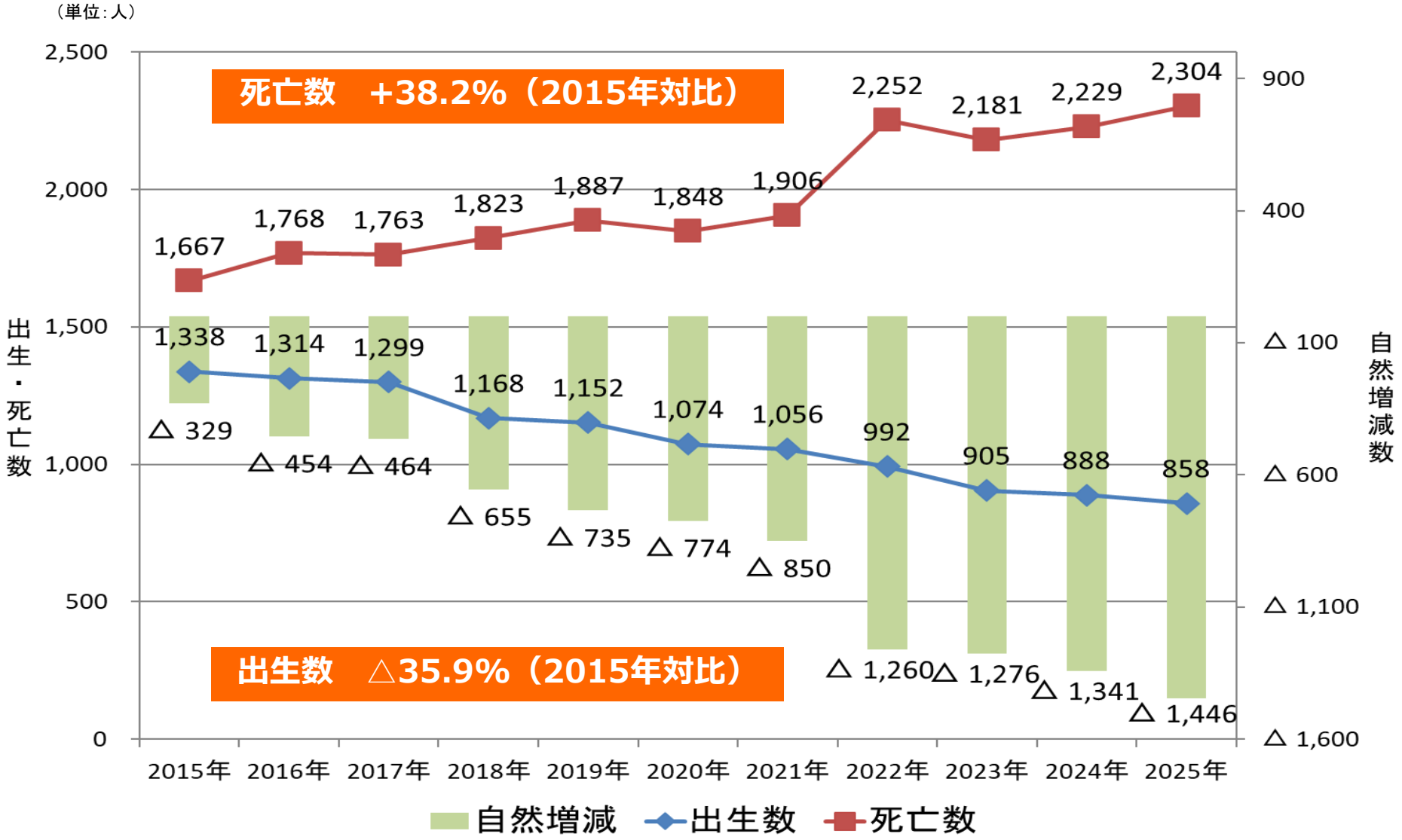


注）社会動態は転出入差と職権による増減の合計、各年12月末日現在の比較
出典：振興局市区町村別人口、人口動態及び世帯数（北海道地域振興局）より帯広市作成

帯広市の人口動向

自然増減

● 減少数が拡大している

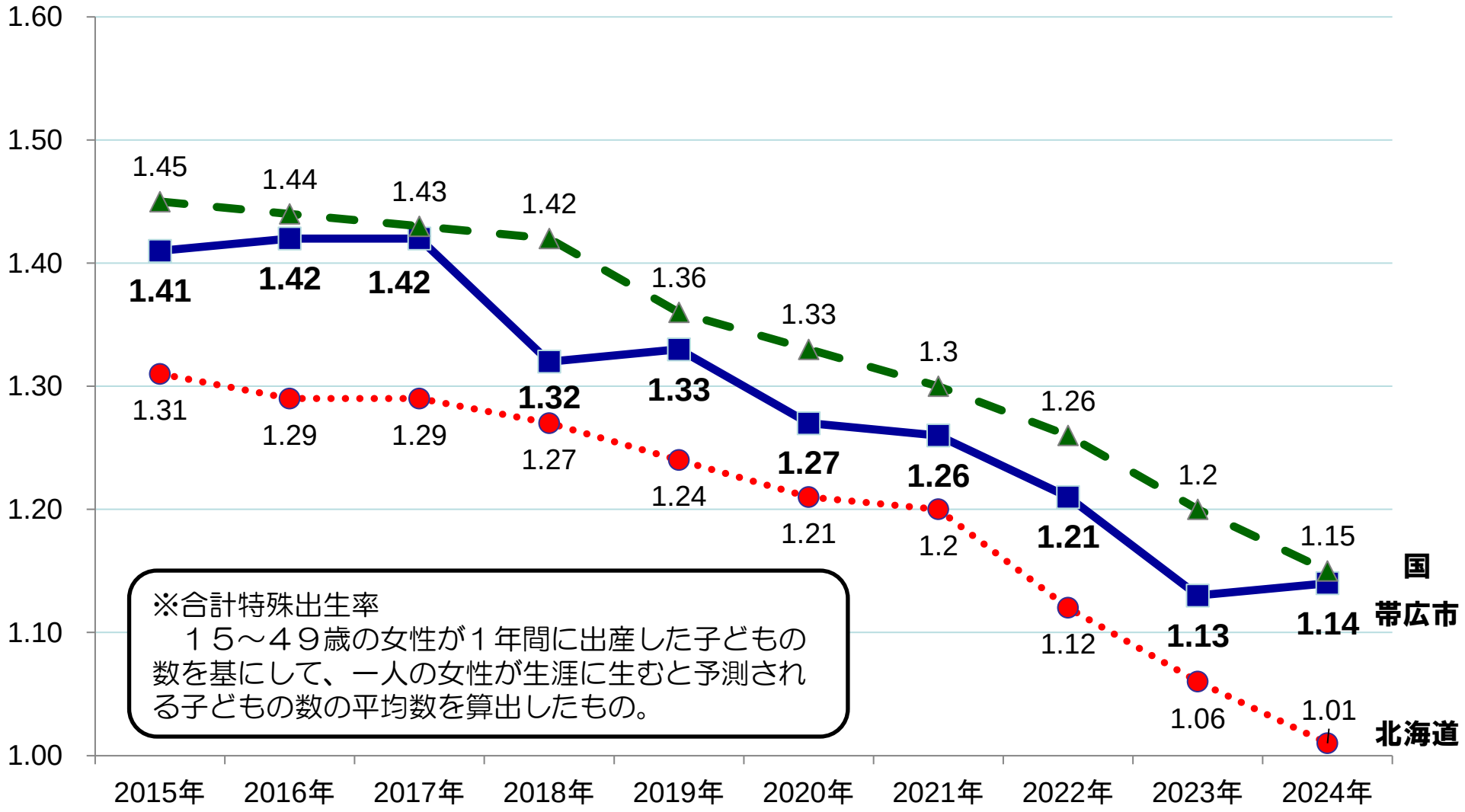


注）各年12月末日現在　出典）住民基本台帳

帯広市の人口動向

合計特殊出生率

- 全国的な傾向と同様に低下が続いていたが、2024（R6）年は増加に転じた



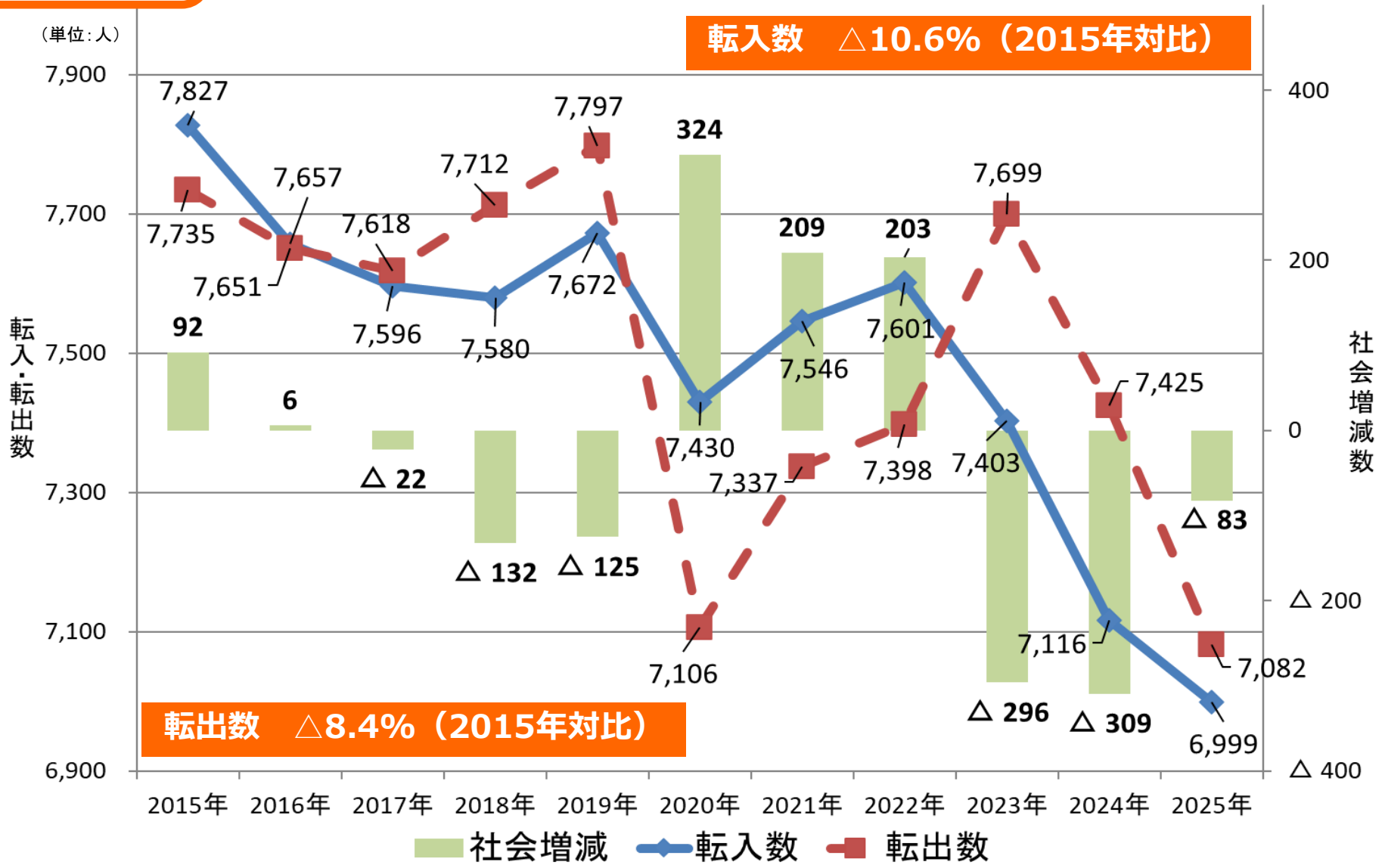
※合計特殊出生率
　１５～４９歳の女性が１年間に出産した子どもの数を基にして、一人の女性が生涯に生むと予測される子どもの数の平均数を算出したもの。

出典：国・北海道は人口動態統計、帯広市は人口動態統計および住民基本台帳をもとに独自推計

帯広市の人口動向

社会増減

● 感染症の影響が収まり、2023（R5）年からは転出超過の傾向



注）各年12月末日現在　出典）住民基本台帳

帯広市の人口動向

人口移動図

● 札幌市・東京圏への転出超過は減少傾向に転じている。
十勝管内・その他の地域は転入超過の傾向

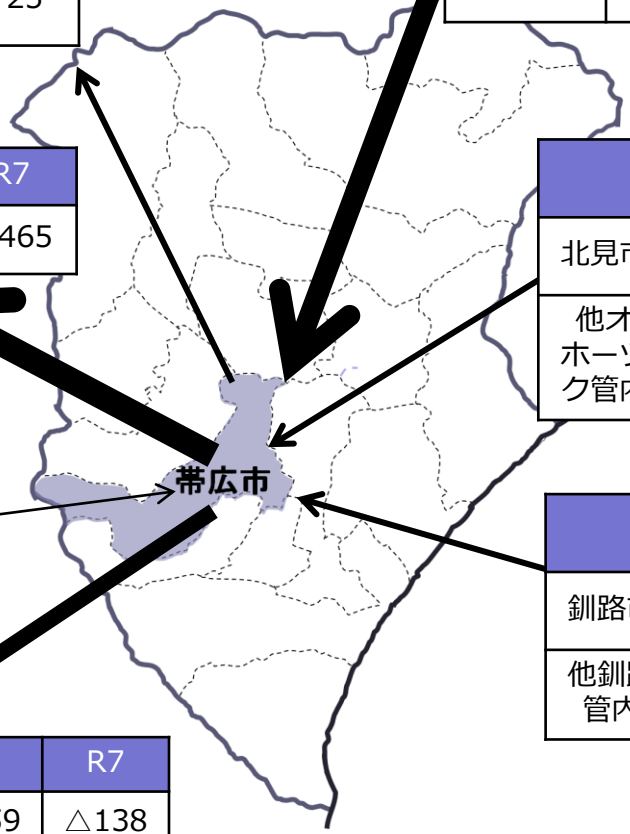
（単位：人）

	R3	R4	R5	R6	R7
旭川市	+30	△40	△13	△21	△33
他上川管内	+21	+5	+17	+30	+25

	R3	R4	R5	R6	R7
十勝管内	+382	+413	+89	+237	+299

	R3	R4	R5	R6	R7
札幌市	△288	△399	△459	△660	△465

	R3	R4	R5	R6	R7
北見市	+39	+8	+7	+2	+34
他オホーツク管内	+60	+53	+5	+59	+39



	R3	R4	R5	R6	R7
日高管内	+14	+14	+15	+14	+10

	R3	R4	R5	R6	R7
釧路市	+41	+44	+131	+24	+72
他釧路管内	△2	+6	+45	+19	+29

	R3	R4	R5	R6	R7
東京圏	△94	△89	△197	△259	△138

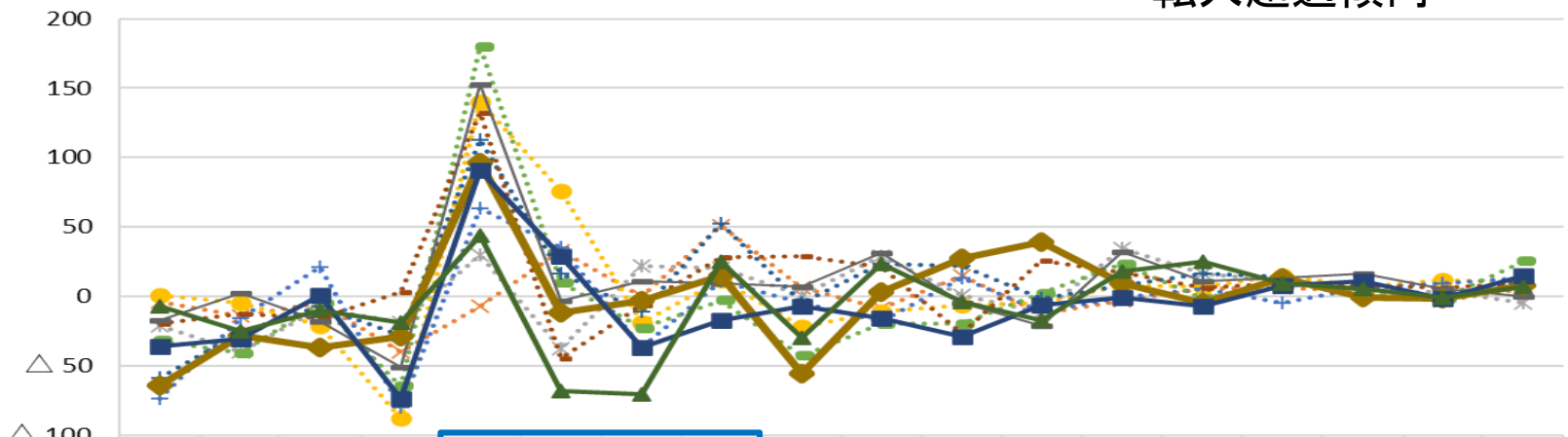
注）東京圏（埼玉・千葉・東京・神奈川）

出典：北海道総合政策部情報統計局統計課

帯広市の人口動向

（男性）年齢階級別・転出入状況＜経年比較＞

- 20代後半～30代前半で転出超過傾向
- 20代前半・30代後半で転入超過傾向



	0～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85以上
2015年	△ 4	△ 14	△ 5	△ 40	△ 7	33	0	51	6	△ 9	15	△ 13	△ 3	5	6	4	△ 3	5
2016年	△ 21	△ 40	△ 9	△ 19	30	△ 38	22	20	1	29	1	△ 12	34	16	11	1	4	△ 5
2017年	1	△ 5	△ 21	△ 88	140	76	△ 19	12	△ 22	△ 11	△ 6	△ 5	8	7	15	7	12	10
2018年	△ 74	△ 16	21	△ 80	63	35	△ 37	11	△ 5	△ 18	13	△ 11	△ 1	5	△ 5	6	9	13
2019年	△ 32	△ 41	△ 5	△ 65	180	10	△ 23	△ 3	△ 43	△ 20	△ 20	2	23	△ 2	11	6	△ 2	25
2020年	△ 59	△ 26	△ 7	△ 28	113	16	△ 11	52	△ 5	23	22	△ 2	8	16	14	△ 2	1	12
2021年	△ 20	△ 13	△ 16	3	132	△ 45	△ 6	28	29	21	△ 27	26	17	6	9	8	6	9
2022年	△ 17	2	△ 18	△ 51	153	△ 3	11	9	7	31	△ 5	△ 21	32	11	13	16	5	0
2023年	△ 64	△ 28	△ 37	△ 29	96	△ 12	△ 3	15	△ 56	3	27	39	9	△ 5	13	△ 1	△ 2	8
2024年	△ 36	△ 31	1	△ 74	91	29	△ 37	△ 17	△ 7	△ 16	△ 29	△ 6	△ 1	△ 7	8	11	△ 2	15
2025年	△ 7	△ 25	△ 10	△ 19	44	△ 68	△ 71	25	△ 30	23	△ 4	△ 17	18	25	9	5	△ 1	7

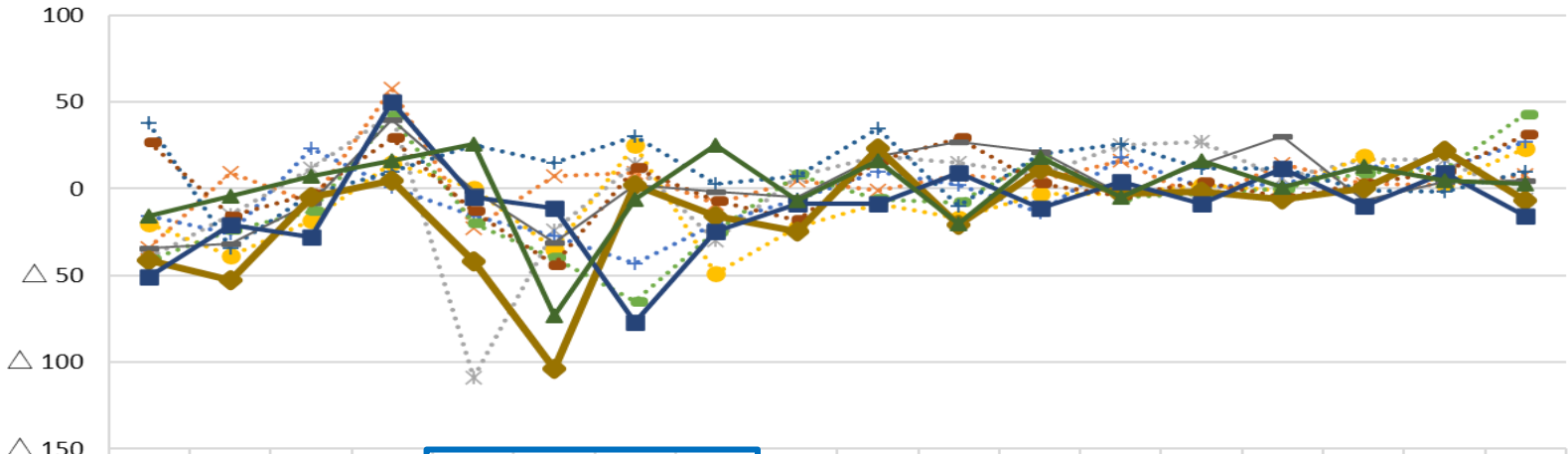
（単位：人）

出典：住民登録データから帯広市集計

帯広市の人口動向

（女性）年齢階級別・転出入状況＜経年比較＞

- 20代後半～30代前半で転出超過傾向
- 20代前半･30代後半で転入超過傾向



	0～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85以上
2015年	△ 34	9	△ 8	58	△ 23	7	9	△ 9	5	△ 1	8	5	16	△ 6	14	3	2	8
2016年	△ 40	△ 15	12	43	△ 109	△ 24	14	△ 30	7	19	15	8	25	27	6	17	17	△ 6
2017年	△ 20	△ 39	△ 18	15	0	△ 35	25	△ 49	△ 22	△ 9	△ 17	△ 3	△ 3	2	△ 1	19	3	23
2018年	△ 16	△ 26	23	1	△ 16	△ 27	△ 43	△ 20	△ 6	10	2	△ 14	18	1	3	13	12	27
2019年	△ 41	△ 24	△ 13	42	△ 20	△ 40	△ 65	△ 25	8	△ 6	△ 8	18	△ 5	△ 3	0	9	11	43
2020年	38	△ 34	△ 3	10	25	15	30	3	7	35	△ 10	20	26	12	12	△ 1	△ 2	10
2021年	27	△ 16	△ 3	29	△ 13	△ 44	12	△ 7	△ 18	16	29	3	△ 4	4	△ 5	3	10	31
2022年	△ 34	△ 32	△ 8	40	△ 1	△ 31	2	△ 2	△ 5	19	27	21	△ 3	14	30	△ 7	4	5
2023年	△ 41	△ 53	△ 5	5	△ 42	△ 104	2	△ 16	△ 25	23	△ 21	11	△ 3	△ 2	△ 6	0	22	△ 7
2024年	△ 51	△ 21	△ 28	50	△ 5	△ 11	△ 77	△ 25	△ 9	△ 9	9	△ 11	4	△ 9	12	△ 10	9	△ 16
2025年	△ 16	△ 4	7	16	26	△ 73	△ 6	25	△ 7	16	△ 20	18	△ 5	16	1	13	5	3

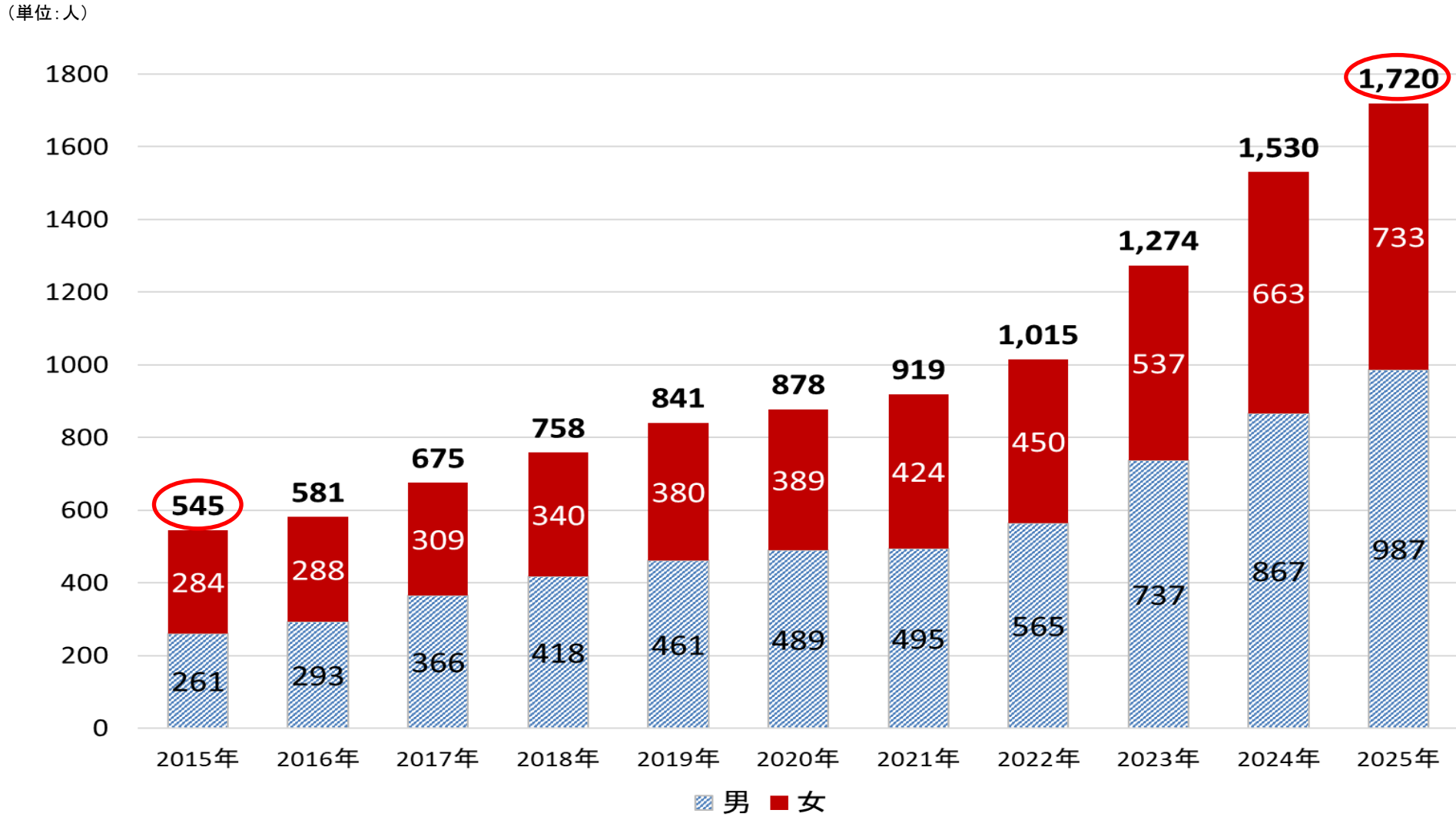
（単位：人）

出典：住民登録データから帯広市集計

帯広市の人口動向

外国人数

● 2015（H27）年～2025（R7）年の間で1,175人増加（+215.6%）



出典）住民基本台帳

第3期帯広市まち・ひと・しごと
創生総合戦略

令和7年度　指標の概要／基本目標評価表

第3期帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略　令和7年度指標の概要

4つの基本目標と指標の達成状況

基本目標(1)	KPI		
新たな「しごと」を創り出す	順調に進捗 または 達成 （進捗率20％超）	進捗していない または 達成していない （進捗率20％未満）	計
	7	4	１１

基本目標(2)	KPI		
十勝・帯広への「ひと」の流れをつくる	順調に進捗 または 達成 （進捗率20％超）	進捗していない または 達成していない （進捗率20％未満）	計
	5	0	5

基本目標(3)	KPI		
結婚・出産・子育ての希望をかなえる	順調に進捗 または 達成 （進捗率20％超）	進捗していない または 達成していない （進捗率20％未満）	計
	3	1	4

基本目標(4)	KPI		
快適でいきいきと暮らせるまちをつくる	順調に進捗 または 達成 （進捗率20％超）	進捗していない または 達成していない （進捗率20％未満）	計
	3	5	8

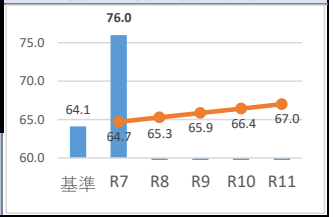
令和７年度　総合戦略　基本目標評価表（基本目標１）

基本目標	１ 新たな「しごと」を創り出す
取り組みの方向	海外を視野に域外から稼ぐことができる仕事の創出をはかるため、地域の強みを活かし、農業・食関連産業等の振興や、産業基盤の強化、産業人の育成に取り組みます。

１．毎年の進捗状況／重要業績評価指標（KPI)の達成状況と分析

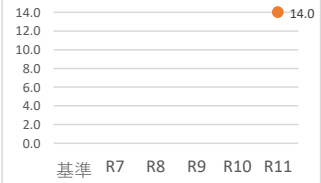
取り組みの柱　①農業・食関連産業等の振興

取り組み項目　ア）先端的な農業の推進

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	R7 進捗状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
スマート農業普及率	%	漸増	64.1	67.0	76.0					○	
進捗率 ((実績値ー基準値)／(目標値ー基準値))					410.3%	－	－	－	－		

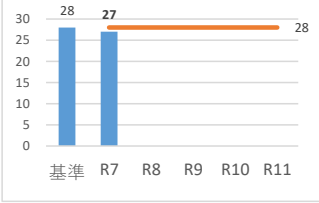
指標の要因分析（取り組みの成果や課題）	農業団体と連携したスマート農業の普及啓発に加え、国の補助事業の活用や、市の制度融資の活用推進により、GPSガイダンスや自動散布スプレーヤーなどの導入が拡大し、目標に向けて順調に進捗しています。
今後の進め方	今後も関係機関との連携のもと、スマート農業に対する農業者の理解促進を図るとともに、補助事業や融資制度の活用を促し、スマート農業普及率のさらなる向上に取り組みます。
主な取り組み	○スマート農業の推進　○農業用機械等の導入支援　○ＩＣＴ機器の導入等に係る制度融資貸付

取り組み項目　イ）食の備蓄・加工・物流拠点の形成

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	R7 進捗状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
帯広川西ＩＣ フードテックパーク 事業用地開発許可面積	ha	漸増	0.0	14.0	0.0					－	
進捗率 ((実績値ー基準値)／(目標値ー基準値))					0.0%	－	－	－	－		

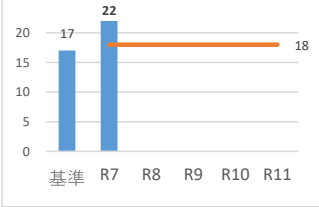
指標の要因分析（取り組みの成果や課題）	市街化調整区域の計画期間内（令和11年度まで）の開発を目指し、土地の開発手法について関係機関と検討を行い、農村産業法を活用して進める必要があります。
今後の進め方	帯広川西ICフードテックパーク事業組合において立地企業が固まり次第、市が企業の業種や規模、開発エリアなどの具体的な内容を農村産業法に基づく実施計画書に記載のうえ、北海道へ提出し同意を得るほか、各種法手続きを進めます。
主な取り組み	○北海道や関係機関等との協議　○事業組合の取り組みに対する協力　○再生可能エネルギー導入の検討 ○各自動車道の早期建設促進期成会を通じて、早期の整備促進に向けた関係機関への要望活動等を実施 ○十勝圏活性化期成会を通じた国への要望

取り組み項目　ウ）海外展開の促進

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	R7 達成状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
食品輸出に向けた商談件数	件	毎年度	28	28	27					×	
達成状況（実績－目標値）					-1	－	－	－	－		

指標の要因分析（取り組みの成果や課題）	関係機関との連携により、販路拡大に向けた商談会の開催支援や、道産ワインのアジア展開支援を目的とした海外での販路拡大事業などを実施しました。JETRO北海道が主催する商社マッチングでは、例年と同水準の商談件数となったものの、目標を達成できませんでした。
今後の進め方	今後も、JETRO北海道と連携しながら、企業への周知や関係機関等との連携強化に取り組み、商談件数の増につなげます。
主な取り組み	○商社などとのマッチングを通じた支援　○関係機関を通じた展示会等への出展の支援 ○海外輸出セミナーの開催　○関係機関を通じた輸出業者への補助

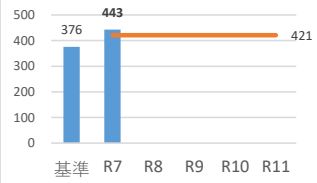
取り組み項目　エ）商品開発・販路開拓支援

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	R7 達成状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
販路拡大に向けた「北海道の物産と観光展」の出品企業数	社	毎年度	17	18	22					○	
達成状況（実績－目標値）					+4	－	－	－	－		

指標の要因分析（取り組みの成果や課題）	物産の販路拡大業務委託先の一般社団法人帯広物産協会による、「北海道の物産と観光展」の各会場での新規出展の商談の実施により、出品企業数の増につながり、目標を達成しました。また、関係機関への支援を行ったことで、包括連携企業より新たなスイーツが販売されたほか、総合スーパーや管内農協による商品開発数の増加、域内の生産者・加工事業者が連携した６次産業化につながりました。
今後の進め方	今後も物産展会場での商談に取り組み、出品企業数の増につなげるほか、関係機関と連携しながら、消費者のニーズに対応した商品開発・販路拡大に取り組みます。
主な取り組み	○北海道の物産と観光展への出展支援　○包括連携協定等を生かした試験研究及び商品開発支援 ○域内の生産者・加工事業者・飲食店等が連携した６次産業化支援 ○十勝産農畜産物、加工品の販路拡大　○首都圏企業とのビジネスマッチング支援

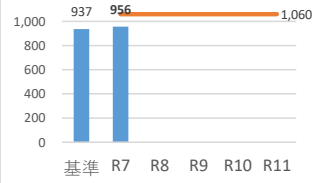
取り組みの柱　②産業基盤の強化

取り組み項目　ア）創業・起業支援

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	R7 達成状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
創業・起業支援件数	件	毎年度	376	421	443					○	
達成状況（実績－目標値）					+22	－	－	－	－		

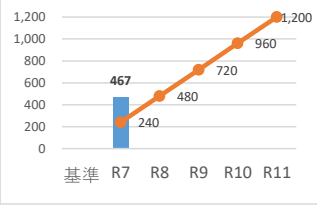
指標の要因分析（取り組みの成果や課題）	「とかち・イノベーション・プログラム」において、セッションのアーカイブ配信や、託児サービスの実施、プログラム経験者の人的ネットワークを活用した参加者募集により、幅広い層の新規参加がありました。また、地域の創業者を増やすことを目的に、各金融機関と連携を取りながら融資のあっせんや創業の相談対応、創業セミナーの開催などに取り組み、目標を達成しました。
今後の進め方	とかち・イノベーション・プログラムについては、事業内容の改善や参加しやすい運営体制の整備、周知方法の工夫に取り組み、参加者数の確保につなげます。また、創業支援については、今後も金融機関等との連携を進め、支援件数の増加につなげます。
主な取り組み ●：企業版ふるさと納税活用事業	●とかち・イノベーション・プログラムの実施 ●十勝ドリームマップ会議の開催 ○LANDの管理運営

取り組み項目　イ）中小企業の経営支援

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	R7 達成状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
新製品・新技術の開発等に向けた技術相談件数	件	毎年度	937	1,060	956					×	
達成状況（実績－目標値）					-104	－	－	－	－		

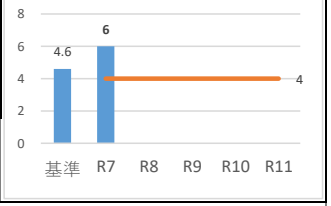
指標の要因分析（取り組みの成果や課題）	公益財団法人とかち財団による、技術指導・企業相談に取り組みましたが、相談件数の大幅な増とはならず、目標を達成できませんでした。生産性向上等のための設備投資支援として、帯広市中小企業振興融資制度による貸付を実施したほか、中小企業相談所による経営相談、講習会開催などへの支援を通じて相談体制を維持し、物価上昇による経営相談や補助金申請に関する相談の大幅な増加に対応しました。
今後の進め方	今後も、地域ニーズ・企業ニーズを的確に把握し、研究開発・技術支援の効果的な展開を図るとともに、利用企業や関係機関等との連携強化に取り組み、相談件数の増につなげます。また、生産性向上や業務効率化に資する設備導入・更新の資金需要に対応していくほか、関係各所と連携を取りながら、経営相談の実施、講習会の開催、補助金情報の共有を行います。
主な取り組み	○関係機関のコーディネーター等との連携による支援相談体制の充実 ○生産性向上等のための設備投資支援　○DX推進に係る支援制度の周知、支援機関の紹介 ○中小企業相談所による経営相談、講習会開催などへの支援

取り組み項目　ウ）人材の確保

指標	単位	目標達成の考え方	基準値	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	R7 進捗状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
市が運営する就職マッチングシステム「ビズロケとかち」の新規登録者数	人	累積	0	1,200	467					○	
進捗率（（実績値ー基準値）／（目標値ー基準値））					38.9%	－	－	－	－		

指標の要因分析（取り組みの成果や課題）	移住相談会に加え、首都圏で開催したイベント等を通じて「ビズロケとかち」を周知したことで、令和7年度の新規登録者は467名となり、目標に向けて順調に進捗しました。一方、事業所雇用実態調査では約6割の事業所が労働力不足と回答しており、特に建設業など特定の業種で人手不足の状況が顕著に見られます。また看護分野では、市内看護学校の入学者数が減少傾向にあるなど、看護に関する人材の確保も課題となっています。
今後の進め方	今後も「ビズロケとかち」や「ジョブジョブとかちシニア」の周知による登録者確保や、移住就職応援プラン・移住支援金等のUIJターン促進策などによる就労支援のほか、障害者雇用に関する支援や市内看護学校の生徒数確保、卒業生の市内定着率向上などの取組を通じて、地元企業の人材獲得につなげます。
主な取り組み	○若年者就業支援事業の実施　○高齢者・障害者と地元企業とのマッチング支援　○都市部の潜在的移住希望者向けの情報発信やUIJターン促進イベントの開催 ○地域人材確保・マッチング事業の実施　○十勝圏複合事務組合分担金　○看護養成学校運営費補助 ○障害者就労・相談支援事業の実施

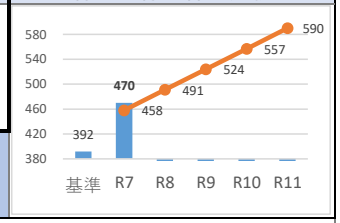
取り組み項目　エ）企業集積の促進

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	R7 達成状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
企業立地補助制度を活用した企業数	件	毎年度	4.6	4	6					○	
達成状況（実績ー目標値）					+2	－	－	－	－		

指標の要因分析（取り組みの成果や課題）	企業立地促進条例に基づく助成対象の拡大を行い、企業訪問活動による情報収集などを通じて、地元企業への支援を行うことで設備投資が促進され、目標を達成しました。一方で、制度の存在を知らない事業者も多い状況であり、さらなる周知が必要です。
今後の進め方	制度について多くの事業者に周知するため、企業訪問を行う際に案内を行うほか、金融機関等も含めた関係機関との連携による周知に務めていきます。
主な取り組み	○立地企業の設備投資への支援　○企業訪問活動による情報収集 ○企業立地セミナーの出展等による企業誘致の推進

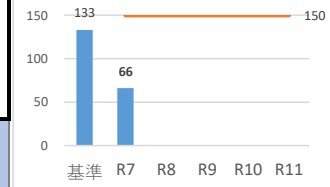
取り組みの柱　③産業人の育成

取り組み項目　ア）次世代の担い手育成

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	R7 進捗状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
事業創発プログラム 累積参加者数	人	累積	392	590	470					○	
進捗率 ((実績値ー基準値)／(目標値ー基準値)) ※R6～R11に毎年33人の参加を目標とするもの。進捗の目安は下段の通り。					39.4% (33.3%)	- (50.0%)	- (66.7%)	- (83.3%)	- (100.0%)		

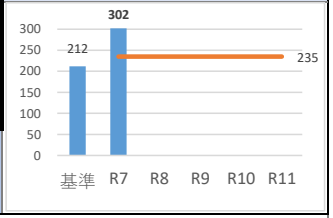
指標の要因分析 (取り組みの成果や課題)	「とかち・イノベーション・プログラム」において、セッションのアーカイブ配信や、託児サービスの実施、プログラム経験者の人的ネットワークを活用した参加者募集により、幅広い層の新規参加があり、目標に向けて順調に進捗しています。また、北海道熱中開拓機構と連携し、食や農業に関連するリスキリングのため、社会人等を対象に、十勝の価値を見つめ直すプログラムを実施しました。
今後の進め方	とかち・イノベーション・プログラムについては、プログラム内容の改善を図り、事業内容の改善や参加しやすい運営体制の整備、周知方法の工夫に取り組み、参加者数の増加につなげます。また、社会人等の学び直しの環境づくり支援事業については、今後も十勝・帯広の価値を高め、食を通じた地域産業の振興につながる取り組みを進めます。
主な取り組み ●：企業版ふるさと納税活用事業	●とかち・イノベーション・プログラムの実施 ●社会人等の学び直しの環境づくり支援事業 ○フードバレーとかち人材育成事業の実施

取り組み項目　イ）能力開発の支援

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	R7 達成状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
通年雇用促進支援事業 参加者数	人	毎年度	133	150	66					×	
達成状況 (実績ー目標値)					-84	-	-	-	-		

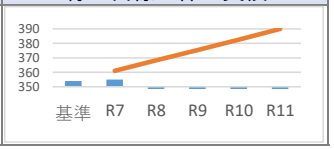
指標の要因分析 (取り組みの成果や課題)	帯広地方職業能力開発協会が実施する認定職業訓練等への補助や、帯広・南十勝通年雇用促進協議会を通じた技能講習、資格取得費用の助成、安全衛生教育等に取り組みましたが、目標を達成しませんでした。季節労働者数の減少が年々進んでいることや、感染症の収束に伴う受講者の一時的な増加があったことが要因と考えます。また、近年は事業者における人手不足から、職業能力訓練校への入校者数が低調に推移している状況にあります。
今後の進め方	今後も、帯広地方職業能力開発協会に対する補助をはじめとする各種事業の実施や関係機関との協力による周知に取り組み、技能職種従事者や季節労働者の技能向上、資格取得等を促進します。
主な取り組み	○補助金等による職業能力開発事業への支援　○季節労働者の資格取得への助成や技能講習等の開催

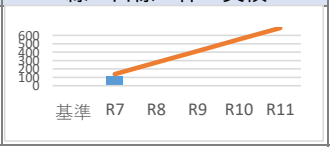
取り組み項目　ウ）リーダー人材の育成

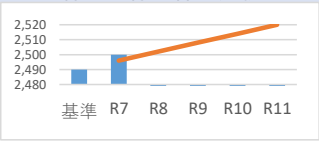
指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	R7 達成状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
リーダー人材育成講座参加者数	人	毎年度	212	235	302					○	
達成状況（実績－目標値）					+67	－	－	－	－		

指標の要因分析（取り組みの成果や課題）	フードバレーとかち人材育成事業において、地域ニーズに応じたプログラムの作成や周知活動を実施したことで、参加者の増につながり、目標を達成しました。
今後の進め方	今後も、地域ニーズに応じたプログラムの作成や周知活動に取り組み、参加者の増につなげます。
主な取り組み	○フードバレーとかち人材育成事業

２．数値目標の推移（参考）　※検証・分析は、総括評価時に行います。

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	達成状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
農業産出額	億円	漸増	354	390	355					R11に判定	

指標	単位	目標達成の考え方	基準値	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	達成状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
創業・起業件数	件	累積	0	688	110					R11に判定	

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	達成状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
法人市民税（法人税割）の賦課法人数	社	漸増	2,490	2,520	2,500					R11に判定	

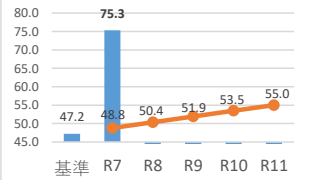
令和７年度　総合戦略　基本目標評価表（基本目標２）

基本目標	２　十勝・帯広への「ひと」の流れをつくる
取り組みの方向	定住人口や交流人口、関係人口の拡大につなげるため、移住・定住の促進や地域特性を生かした“十勝観光”の展開に取り組みます。

１．毎年の進捗状況／重要業績評価指標（KPI)の達成状況と分析

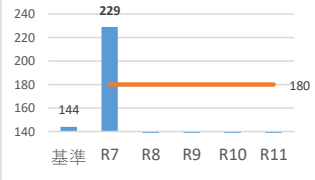
取り組みの柱　**①移住・定住の促進**

取り組み項目　ア）ふるさと教育の推進

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	R7 進捗状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある子ども（中学生）の割合	%	漸増	47.2	55.0	75.3					○	
進捗率（(実績値ー基準値)／(目標値ー基準値)）					360.3%	－	－	－	－		

指標の要因分析（取り組みの成果や課題）	帯広市の豊かな自然環境や歴史、伝統、文化、地域住民の関わりなどをテーマとしたおびひろ市民学を実施したほか、各学校の総合的な学習の時間において地域を題材とした探究的な学びを進めたことで、地域や社会をよくするために何をすべきか考える子どもの割合の増加につながっていると考えており、目標に向けて順調に進捗しています。また、アイヌ文化に関する展示の開催や普及啓発、ばんえい競馬におけるPR馬の派遣などにも取り組み、ふるさと教育の推進を図りました。
今後の進め方	今後も、地域の人材を活用しおびひろ市民学の各種講座の充実を図るほか、各学校の総合的な学習の時間の取組支援を進める中で、地域や社会の課題を自分事として考える子どもの割合の増加を目指します。
主な取り組み	○「おびひろ市民学」の実施　○総合的な学習の時間の支援　○食や農業に関するイベントの開催・支援 ○食育計画の推進　○アイヌ文化月間連携事業の実施　○アイヌ文化の普及啓発　○ＰＲ馬派遣事業

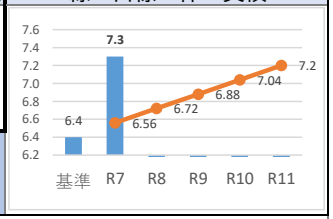
取り組み項目　イ）移住支援

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	R7 達成状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
移住相談件数	件	毎年度	144	180	229					○	
達成状況（実績ー目標値）					+49	－	－	－	－		

指標の要因分析（取り組みの成果や課題）	首都圏や関西圏における移住相談フェアへの出展や移住支援金の支給等を実施したことで、来庁・電話・オンラインなどによる移住相談件数が増加し、目標に向けて順調に進捗しました。
今後の進め方	今後も首都圏等での移住相談フェアへの出展や移住支援金の支給等に取り組むほか、帯広市への移住相談を通じて、移住人数の向上を目指します。
主な取り組み	○移住相談・短期移住体験等の実施　○移住支援金の支給 ○都市部の潜在的移住希望者向けの情報発信やUIJターン促進イベントの開催 ○地域おこし協力隊との連携

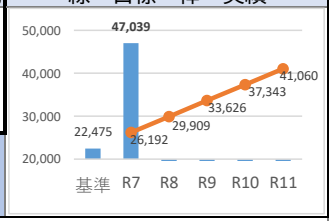
取り組みの柱　② 地域特性を活かした“十勝観光”の展開

取り組み項目　ア）体験・滞在型観光の推進

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	R7 進捗状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
十勝のアウトドア観光消費額	億円	漸増	6.4	7.2	7.3					○	
進捗率（（実績値ー基準値）／（目標値ー基準値））					112.5%	－	－	－	－		

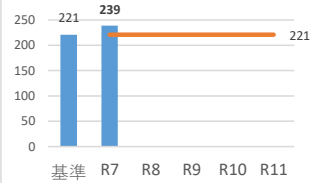
指標の要因分析（取り組みの成果や課題）	アドベンチャートラベルの推進に向けたガイド人材の育成、アイヌ文化を活用した観光コンテンツの充実などに取り組んだ結果、アウトドア観光消費額は増加し目標を達成しました。　今後は、この成果を維持・発展させるため、造成したコンテンツの販路拡大やプロモーションの強化、受入環境のさらなる充実に取り組む必要があります。
今後の進め方	関係機関や観光事業者と連携し、造成した観光コンテンツの販路拡大やプロモーションを強化するとともに、ガイド人材の育成や受入環境の充実を進め、アウトドア観光消費額の増加につなげます。
主な取り組み	○ポロシリ自然体験観光推進事業の実施（ヤマメ放流）　○アウトドア観光情報の発信　○サイクルツーリズムの推進（十勝サイクルウィーク開催支援） ○アドベンチャートラベルの推進（ATガイド育成セミナー、北海道アウトドア講習受講費用助成）　○十勝・日高山脈観光連携協議会への参画 ○アイヌ古式舞踊の観光コンテンツ化（舞踊披露、アイヌ文化の発信、ガイド・体験指導者育成）　○宿泊税の活用に向けた取り組み

取り組み項目　イ）インバウンド誘客の促進

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	R7 進捗状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
訪日外国人宿泊客延べ数	人	漸増	22,475	41,060	47,039					○	
進捗率（（実績値ー基準値）／（目標値ー基準値））					132.2%	－	－	－	－		

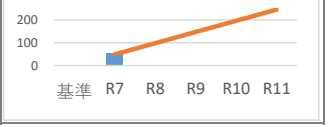
指標の要因分析（取り組みの成果や課題）	自然や食、文化、アウトドアなどの地域の魅力を活かした観光コンテンツの造成や、観光関連団体と連携したSNSによる情報発信、海外プロモーション活動に取り組んできたことに加え、初の国際定期便就航に伴い訪日外国人の宿泊客延べ数が増加し、目標に向けて順調に進捗しました。
今後の進め方	新たに導入した宿泊税も活用しながら、観光の魅力発信や観光コンテンツの充実を図るほか、空港運営者等と連携したとかち帯広空港の利用促進や路線誘致に取り組みます。
主な取り組み	○宿泊税の活用に向けた取り組み（再掲） ○航空路線の充実に向けた要請活動の実施 ○空港の利用促進に向けたプロモーション活動の実施

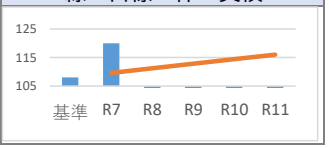
取り組み項目　ウ）　スポーツ大会、コンベンション等の誘致

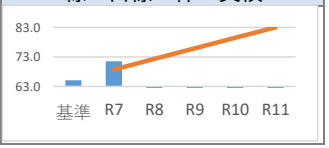
指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	R7 達成状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
市内を会場に開催された大会等の数	件	毎年度	221	221	239					○	
達成状況（実績ー目標値）					+18	－	－	－	－		

指標の要因分析（取り組みの成果や課題）	情報発信や関係団体との連携を実施したことで、大会等の増加につながり、目標を達成しました。
今後の進め方	今後も、各主催団体等と協力しながら大会や合宿等の誘致活動や受入体制の整備に取り組み、大会等の増加による関係人口の拡大につなげます。
主な取り組み ●：企業版ふるさと納税活用事業	○全国・全道大会等の誘致、開催支援（全国・全道大会、スケート国際大会、プロスポーツ等） ●市民マラソン大会の開催　○コンベンションの誘致活動

2．数値目標の推移（参考）　※検証・分析は、総括評価時に行います。

指標	単位	目標達成の考え方	基準値	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	達成状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
移住者数	人	累積	0	245	53					R11に判定	

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	達成状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
宿泊客延べ数	万人	漸増	108	116	120					R11に判定	

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	達成状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
空港旅客数	万人	漸増	65.1	83.0	71.5					R11に判定	

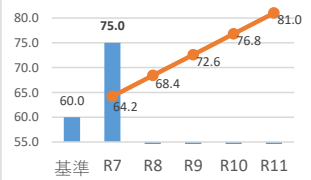
令和７年度　総合戦略　基本目標評価表（基本目標３）

基本目標	３ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
取り組みの方向	男女ともにその希望に応じ働きながら、結婚し、子育てする環境の充実をはかるため、国との役割分担のもと、結婚・出産を支える環境づくり、子どもを安心して育てられる環境づくりに取り組みます。

１．毎年の進捗状況／重要業績評価指標（KPI)の達成状況と分析

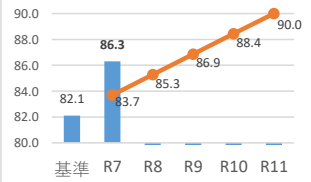
取り組みの柱　**①結婚・出産を支える環境づくり**

取り組み項目　ア）共に働き共に子育てする環境づくり

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	R7 進捗状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
市役所における育児休業を取得した男性職員の割合	%	漸増	60.0	81.0	75.0					○	
進捗率（(実績値ー基準値)／(目標値ー基準値)）					71.4%	－	－	－	－		

指標の要因分析（取り組みの成果や課題）	育児参加への意識向上や育休に対する手当金等により基準年よりも市職員の男性育休の取得割合が上昇し、目標に向けて順調に進捗しました。 加えて、子育て応援事業所促進奨励金や社会的機運の高まり等により、企業等における「男性従業員の育児休業取得割合」は令和7年度実績55.9%と、目標値30.0%を大きく上回っています。一方、「育休制度導入率」は66.0%と基準値を下回っており、特に小規模事業所での制度導入が進んでいません。
今後の進め方	今後も、男性職員の育児休業の取得促進に向けて育児休業手当金をはじめとした様々な支援制度の周知を行うほか、小規模事業所における育児休業の導入促進に向けた、子育て応援事業所促進奨励金の制度内容の見直しや、講座・セミナーの実施などを通じた、育児・介護休業制度や男女雇用均等法などの周知啓発等を進めていきます。
主な取り組み	○育児休業手当金、育児休業支援手当金などの職員向け制度周知　○子育て応援事業所促進奨励金制度の実施 ○男女共同参画講座やセミナーの実施　○ワークライフバランス啓発資料等の作成・配布 ○子育て応援事業所登録事業の実施　○子育て応援事業所制度の促進に向けた支援　○育児支援に関する制度等の周知

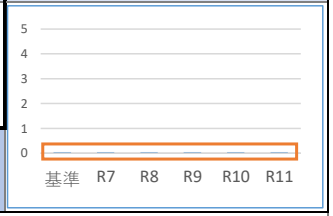
取り組み項目　イ）母子保健の推進

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	R7 進捗状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
母子健康手帳交付時の「子育てアプリおびモ」の利用率	%	漸増	82.1	90.0	86.3					○	
進捗率（(実績値ー基準値)／(目標値ー基準値)）					53.2%	－	－	－	－		

指標の要因分析（取り組みの成果や課題）	アプリによる予約手続きの周知を医療機関との連携により行ったことで利用率の向上につながり、目標に向けて順調に進捗しています。 妊娠・出産・育児におけるアプリを活用した定期的な情報提供とオンライン予約、各種講座の実施や伴走した支援を通じ、母子保健サービスの利便性の向上と必要な支援が行き届く環境を整えているものの、多様化・複雑化したニーズや孤立感を抱える妊産婦・家族も一定程度いるものと捉えています。
今後の進め方	関係機関と連携し、個々の状況に応じた切れ目のない寄り添った支援を継続的に実施するとともに、アプリの情報提供の充実を図ることで、必要な支援が行き届き、安心して妊娠・出産・子育てができる環境整備に努めます。
主な取り組み	○産前産後サポート事業　○両親教室・育児教室の開催　○子育てアプリおびモの運用

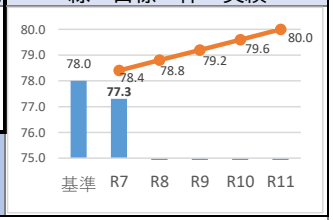
取り組みの柱　② 子どもを安心して育てられる環境づくり

取り組み項目　ア）子育てしやすい環境づくり

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	R7 達成状況	実績値の推移 枠内：目標　棒：実績
保育所等の待機児童数	人	毎年度	0	0	0					○	
達成状況（実績ー目標値）					0	－	－	－	－		

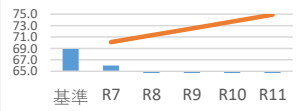
指標の要因分析（取り組みの成果や課題）	共働き世帯の増加を背景とした低年齢児の保育ニーズに対応するため、認可保育施設における低年齢児の受入枠の拡大を進めたことなどにより、目標に向けて順調に進捗しています。また、ファミリーサポートセンター事業の実施のほか、こども家庭センターを設置し、すべての妊産婦、子育て家庭を対象に、子育てに関する様々な相談を受け付けるなど、子育てしやすい環境づくりに取り組みました。
今後の進め方	今後も、多様な保育ニーズの対応や、子育てに関する事業の周知などに取り組み、相談しやすい体制づくりを進めます。
主な取り組み	○待機児童対策事業補助金　○児童保育センター保護者連絡ツールの導入及び活用　○保育ICTシステムの活用 ○こども家庭センターの設置 ○ファミリーサポートセンター事業の実施　○地域子育て支援センター事業の実施

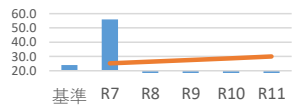
取り組み項目　イ）教育環境の確保

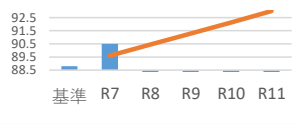
指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	R7 進捗状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
授業でコンピュータなどのICTを活用したいと思う中学生の割合	%	漸増	78.0	80.0	77.3					×	
進捗率（(実績値ー基準値)／(目標値ー基準値)）					0.0%	－	－	－	－		

指標の要因分析（取り組みの成果や課題）	放課後子ども広場の実施のほか、学校支援地域本部の活動支援や学校支援ボランティアの育成、多様な学びを支えるプラットフォームの運営、小中一貫教育の推進に向けた小中学校の連携促進などに取り組みました。また、ICTを活用したプログラミング教育の実施や、食育授業、オンラインでの工場見学等、ICTを活用した授業を進めてきましたが、ICTの活用以外で学ぶことが効率的な授業も一定数あると考えられ、さらなる進捗が必要となっています。
今後の進め方	今後も、放課後子ども広場をはじめとする各種取り組みを継続するほか、ICTを活用したプログラミング教育等の授業の推進に努めるとともに、ICTを活用することで効果的・効率的となる授業の進め方等について各学校と協議・推進することを通して、子どもにとって学びやすい環境の確保に取り組みます。
主な取り組み	○放課後子ども広場の実施　○学校支援地域本部の活動支援　○学校支援ボランティアの育成 ○多様な学びを支えるプラットフォームの運営　○オンライン工場見学を活用した授業 ○ICTを活用した食育授業　○ICTを活用したプログラミング教育　○小中一貫教育の推進　○適正規模の確保等に関する取り組み

２．数値目標の推移（参考）　※検証・分析は、総括評価時に行います。

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	達成状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
育休制度導入率	%	漸増	68.9	74.9	66.0					R11に判定	

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	達成状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
事業所の育児休業を取得した男性従業員の割合	%	漸増	24.0	30.0	55.9					R11に判定	

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	達成状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
この地域で子育てをしたいと思う親の割合	%	漸増	88.8	93.0	90.5					R11に判定	

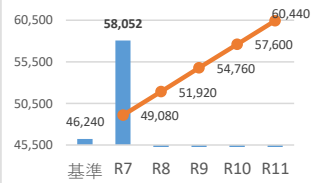
令和７年度　総合戦略　基本目標評価表（基本目標４）

基本目標	４ 快適でいきいきと暮らせるまちをつくる
取り組みの方向	人口減少下においても、誰もが快適に暮らせる環境の充実をはかるため、支え合いの地域づくりや都市のみどり を活用した快適な都市空間の確保のほか、行政サービスのデジタル化などに取り組みます。

１．毎年の進捗状況／重要業績評価指標（KPI)の達成状況と分析

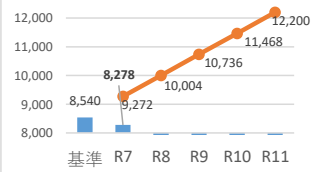
取り組みの柱　**①支え合いの地域づくり**

取り組み項目　**ア）高齢者・障害者の生活支援**

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	R7 進捗状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
地域支え合い体制づくり事業（市民活動プラザ六中利用者数）	人	漸増	46,240	60,440	58,052					○	
進捗率（(実績値ー基準値)／(目標値ー基準値)）					83.2%	－	－	－	－		

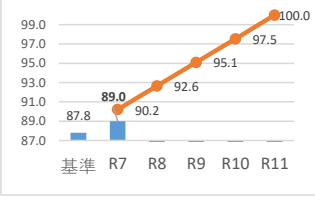
指標の要因分析（取り組みの成果や課題）	多くの市民が参加するイベントを実施したことで、地域支え合い体制づくり事業（市民活動プラザ六中）の利用者数は着実に増加しており、目標に向けて順調に進捗しています。介護予防活動や生活支援体制の充実など、高齢者や障害のある人を地域で支える基盤づくりが進んでいますが、支え合い活動の担い手確保や地域課題の複雑化・多様化への対応が課題となっています。
今後の進め方	市民一人ひとりが支え合う「地域共生社会の実現」に向け、介護予防や生活支援サービスの充実、協議体や生活支援コーディネーターを中心とした住民主体による地域の支え合い活動など地域資源の発掘や開発、また、地域自立支援協議会の活用等を通じた関係者間のネットワークづくりを引き続き進め、高齢者や障害のある人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境づくりを推進します。
主な取り組み	○市民活動プラザ六中での地域支えあい体制づくり事業の実施 ○介護予防・生活支援サービスを提供する事業の実施 ○生活支援サービスに関わる協議体の設置

取り組み項目　**イ）外国人が生活しやすい環境づくり**

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	R7 進捗状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
国際理解推進事業・国際交流事業参加者数	人	漸増	8,540	12,200	8,278					×	
進捗率（(実績値ー基準値)／(目標値ー基準値)）					0.0%	－	－	－	－		

指標の要因分析（取り組みの成果や課題）	JICA研修員や在住外国人に向けた日本文化紹介事業や、国際交流員による小中学校訪問を継続して実施したほか、各種イベント等において外国人講師派遣事業の周知を行いましたが、感染症の流行以降、市民主体での国際交流活動が減少していることから、さらなる進捗が必要となっています。
今後の進め方	今後も、各種イベント等での周知、周知先の拡大（特定技能協力確認書による事業所等）に取組み、国際理解・交流事業への参加者数の増加に繋げます。
主な取り組み	○留学生による地域活動への支援　○市民主体の国際交流活動への支援　○外国人講師派遣事業 ○国際交流員小中学校訪問　○日本文化・外国文化紹介事業

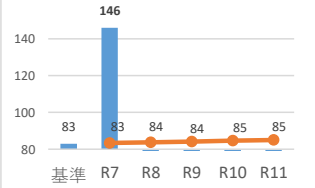
取り組み項目　ウ）地域防災力の強化

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	R7 進捗状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
自主防災組織活動カバー率	%	漸増	87.8	100.0	89.0					×	
進捗率 ((実績値ー基準値)／(目標値ー基準値))					9.8%	－	－	－	－		

指標の要因分析（取り組みの成果や課題）	防災出前講座やセミナーの開催、地域の防災人材の育成などを通じて、防災意識の向上や自主防災組織の育成に取り組みました。一方で、地域活動の主体である町内会の担い手不足や高齢化などを背景に、自主防災活動の増加につながっていないと考えられ、さらなる進捗が必要となっています。
今後の進め方	今後は、防災対策の必要性について意識啓発を図るため、自主防災活動を実施していない町内会等に対し、防災出前講座の開催を働きかけるほか、自主防災活動の実施に向けた相談対応などに取り組み、共助による地域の防災力の向上につなげていく必要があります。
主な取り組み	○防災講座の開催　○自主防災組織の育成・活動支援　○避難支援プラン（個別計画）の作成の促進

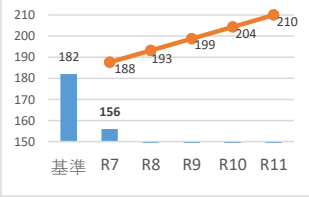
取り組みの柱　②快適な都市環境の確保

取り組み項目　ア）みどりを活用した都市環境の形成

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	R7 進捗状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
公園行為許可件数	件	漸増	83	85	146					○	
進捗率 ((実績値ー基準値)／(目標値ー基準値))					3150.0%	－	－	－	－		

指標の要因分析（取り組みの成果や課題）	緑ヶ丘公園エリアビジョンに基づき、児童遊園芝生における物販利用の試行実施やプレイヤー募集により、多様な主体の活動を呼び込むことができたこと、とかちプラザと一体的な管理運営になったことで、南公園の利活用方法について積極的な情報発信ができたことなどにより、公園行為許可件数の実績が大幅に伸び、目標に向けて順調に進捗しています。
今後の進め方	現在の取り組みを継続するとともに、緑ヶ丘公園エリアビジョンに基づく取り組みやキッチンカーの行為許可が令和８年４月より電子申請可能となったことの周知などにより、みどりの利活用を図り、更なる公園の魅力向上につなげていきます。また、スポーツイベントの開催などにより、市民が気軽にスポーツに親しむ機会を提供します。
主な取り組み	○公園指定管理業務、○スポーツイベントの開催

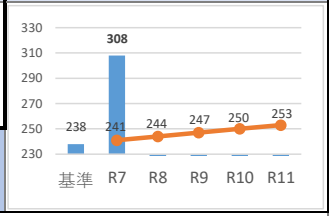
取り組み項目　**イ）　都市機能　・　地域公共交通の確保**

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	R7 進捗状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
空き家の利活用・除却件数	件	漸増	182	210	156					×	
進捗率 ((実績値ー基準値)／(目標値ー基準値))					0.0%	－	－	－	－		

指標の要因分析（取り組みの成果や課題）	空き家の利活用に向け、関係団体と連携し、空き家の適正な管理や市の補助制度などに関する周知や、相談対応に取り組みましたが、除却費等の上昇などの影響により基準値を下回っており、さらなる進捗が必要となっています。 公共交通の維持・確保に向けては、バス事業者等と協力して小学生を対象とした出前講座や、学生や転入者、高齢者などを対象とした小冊子の配布等を実施しました。 中心市街地の活性化に向けては、店舗の改装費等の支援により、まちなかの新たな拠点づくりを進めたほか、中心市街地における多様な主体によるイベントの実施を支援する事業を創設しました。
今後の進め方	今後も、関係団体と連携し、市の補助制度など空き家に関する情報の周知や相談対応に取り組み、空き家の利活用・除却件数の増加につなげます。 地域公共交通については、引き続き利用促進の取り組みを実施するとともに、持続可能な公共交通の確保に向け、関係機関や交通事業者と連携し、バス路線の最適化について検討します。 また、令和７年度に実施した調査分析結果を踏まえ、民間事業者や関係機関等の意見を聴取しながら、立地適正化計画を令和８年度に策定します。 中心市街地の活性化については、SNSの運用開始による広報力の強化、催事を支援する椅子やテーブルの貸与制度の創設など、多様な主体と連携した魅力ある「目的・機会」の創出を一層後押しし、来街機会の更なる創出につなげます。
主な取り組み ●：企業版ふるさと納税活用事業	○立地適正化計画策定に向けた検討　○公共交通の利用促進（１市３町及び交通事業者と連携した公共交通の検討、小学生等への交通環境学習など） ○地域公共交通計画の策定推進　○中高生、転入者、高齢者への公共交通利用啓発用パンフレットの配布 ○都市計画制度の運用の検討　○MaaSの導入に向けた検討　○自動運転自動車の実証運行 ○元気な中心市街地づくり促進事業　○まちなか催事支援事業　○中心市街地活性化協議会支援 ○アクションリスト　●企業版ふるさと納税活用型ふじまるビル除却支援事業　○公共施設マネジメントの推進（個別施設計画の策定・検討） ○空き家の実態調査　○ワンストップ相談窓口などによる相談対応　○空き家の改修購入等補助の実施　○特定空家解体補助金の実施

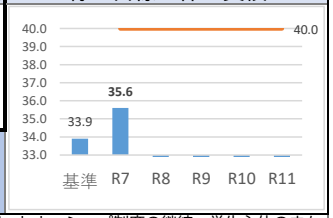
取り組みの柱　③市民活動の活性化

取り組み項目　ア）地域コミュニティの支援

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	R7 進捗状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
コミュニティ活動に関する研修会参加者数	人	漸増	238	253	308					○	
進捗率 ((実績値ー基準値)／(目標値ー基準値))					466.7%	－	－	－	－		

指標の要因分析（取り組みの成果や課題）	ICTの活用に関する講座のほか、災害時に役立つ知識や実践的な技術が身につく研修会など、関心の高い研修会等を実施したことで、参加者が増加し、目標に向けて順調に進捗しています。また、町内会の自主的な活動の継続に向け、市からの依頼業務の見直しや、市職員の相談体制の強化など、町内会の負担軽減と活動支援につながる取り組みを進めました。
今後の進め方	今後も、持続可能な地域コミュニティづくりや地域活動を推進するため、町内会の負担軽減の取り組みなどを進めていきます。
主な取り組み	○町内会の組織・活動の見直し支援　○広報紙の配布方法の見直しに向けた検討 ○地域交流サロンの活動促進

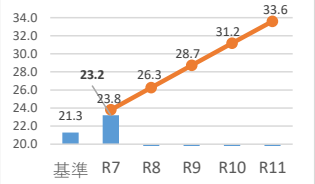
取り組み項目　イ）　多様な主体の活躍促進

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	R7 達成状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
審議会等への女性の参画率	%	毎年度	33.9	40.0	35.6					×	
達成状況（実績ー目標値）					-4.4	－	－	－	－		

指標の要因分析（取り組みの成果や課題）	男女共同参画に関する講座の実施や情報誌の発行により男女平等意識の向上を図ったほか、市民提案型共同のまちづくり支援事業やパートナーシップ制度の継続、学生主体のまちづくり活動の支援などに取り組みました。 審議会の女性参画に向けては、特定の属性に偏らない委員選出を関係課と協議してきましたが、選出される団体の女性割合が低いことや専門的知識を有する女性の人材確保の難しさが要因となり、目標を達成できませんでした。
今後の進め方	今後も、多様な主体の活躍につながるよう、講座・セミナーの実施などを通した男女共同参画に関する意識啓発や、まちづくりに関わる団体・女性・学生など幅広い市民の活動支援に取り組むほか、関係団体への働きかけなどを行いながら、審議会等の意思決定の場における女性参画の推進を図ります。
主な取り組み	○男女共同参画講座やセミナーの実施　○男女共同参画情報誌等の発行　○パートナーシップ制度の実施 ○学生と地域がつながるまちづくり支援事業の実施

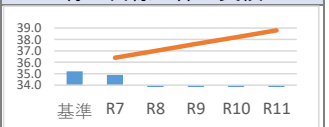
取り組みの柱　④市民サービスのデジタル化

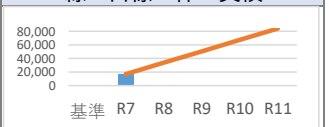
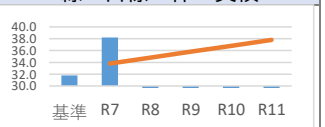
取り組み項目　ア）デジタルを活用した利便性の向上

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	R7 進捗状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
帯広市の手続きのオンライン申請の利用割合	%	漸増	21.3	33.6	23.2					×	
進捗率 ((実績値ー基準値)／(目標値ー基準値))					15.4%	－	－	－	－		

指標の要因分析（取り組みの成果や課題）	「帯広市の手続きのオンライン申請の利用割合」は23.2%であり、さらなる進捗が必要となっていますが、窓口DXの推進に向けては、スムーズかつスマートな窓口サービスの提供に向け、総合的な窓口サービスのあり方の検討に着手したほか、窓口での待ち時間解消のため、手続きのオンライン予約サービスの導入や一部証明書に係るオンライン申請の拡充を図りました。 また、職員採用試験におけるオンライン申請の拡充のほか、建設工事等に係る競争入札参加資格審査に共同審査システムを導入しました。加えて、子育てアプリおびモを活用したオンライン予約や情報発信等の実施のほか、一時保育のオンライン申請受付や保育ICTシステムの連絡帳機能の活用を開始するなど、多岐にわたるデジタル化に取り組みました。
今後の進め方	オンライン申請手続きの更なる拡大に向けて、窓口DX推進プロジェクトの取り組みを通し、他自治体のオンライン申請の取り組みなどの調査・研究を進めるほか、業務プロセスの改善などを図り、市民サービス向上と業務効率の改善に取り組みます。
主な取り組み	○窓口DX推進プロジェクトの設置・検討 ○窓口手続きのオンライン予約サービスの導入　○オンライン申請手続きの拡充 ○入札参加資格共同審査システムの導入（建設工事等）　○電子契約、電子入札、競争入札参加資格審査の物品・役務へのオンライン申請導入の検討、調査 ○自治体HPにおける生成AI検索機能の調査・研究　○子育てアプリおびモの運用　○一時保育のオンライン受付　○キャッシュレス決済の実証実験（休日保育料） ○保育ICTシステムの連絡帳機能の活用開始

２．数値目標の推移（参考）　※検証・分析は、総括評価時に行います。

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	達成状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
直近１年間で地域社会活動に参加した市民の割合	%	漸増	35.2	38.8	34.9					R11に判定	

指標	単位	目標達成の考え方	基準値	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	達成状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
帯広の森・はぐくーむの利用者数	人	累積	0	84,000	17,174					R11に判定	

指標	単位	目標達成の考え方	基準値 R5年度	目標値 R11年度	実績 R7年度	実績 R8年度	実績 R9年度	実績 R10年度	実績 R11年度	達成状況	実績値の推移 線：目標　棒：実績
帯広市の手続きのデジタル化が進んだと思う市民の割合	%	累積	31.8	37.8	38.2					R11に判定